

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○子ども一人ひとりを大切に、まちの教育力を活かした教育を推進し、人とのかかわりを大切に魅力ある学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現や学び合いを大切にしながら「生きる力」を向上させます。 ・児童理解、特別支援の体制を充実させ、子ども一人ひとりが自己有用感をもち「行きたい学校」「安心できる学校」と思える学校にします。 ・まちの教育力（保護者、地域、ボランティア等）を活用した学習を取り入れ、まちの「ひと・もの・こと」とのつながりを意識した体験を通して、まちを愛する心を育てます。 ・学校、家庭、地域、諸機関の連携を密にして、健康で安全な学校生活が送れるようにします。 ・「チーム美東」として全教職員が、主体的に学校運営に参画して、活力ある学校づくりをします。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	よりよい人間関係を築いていこうとする姿を価値づけするとともに、子どもの自己有用感を育て、自分を大切にする心を育てる。	①交歓給食、全校遠足、たまプラーザ音頭の練習など年間を通して「なかよし活動」を行い、異学年のつながりを築くようにする。②保護者、地域、ボランティアなど「まちの人」とのかかわりを生かした学習を展開し、感謝の気持ちやまちを愛する気持ちを育成する。③自ら進んであいさつする姿を認め、ときと場に応じたあいさつや態度につなげていく。
担当	人権・福祉教育委員会	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

学級活動では、方法や手段などを全員で考え、話し合い、それを実践できるように取り組んできている。あいさつ運動や学級のかかり活動などの取組を共通理解し、自分の役割や責任を果たすように場を設定して取り組んでいる。落ち着いて生活できる環境である。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳科の時間」の充実（必須項目） ※道徳科教育全体計画・別葉と連動

指針1 「道徳科の時間」の充実

視点1 要となる「道徳科の時間」の指導

道徳科の時間の指導を通して、子どもが道徳的見方・考え方・感じ方を広げるために教材

指針2 体験学習の充実

視点3 望ましい集団活動

○話し合い活動をするために、子どもたちのよりよい生活を築くための場と時間を設定する。

話し合いの進め方や役割分担の仕方、計画の立て方を、共通理解のもとにすすめる。

○活動の充実

係活動や当番活動を自主的に取り組むことができるようにする。縦割り活動の充実を図る。

○縦割り活動

異年齢集団活動を行うことができる場を設定する。

○集団宿泊体験の充実

校外の自然や文化に触れる活動を組み立てる。